

2009年12月7日

民主党 幹事長 小沢一郎 様

日本キリスト教協議会 議長 輿石 勇  
総幹事 飯島 信

### 申し入れ書

初めに、ご多忙の中、今野東参議院議員を介しての私たちの申し入れに素早く応じ、お時間を取って下さったことに心からお礼を申し上げます。本日、私たちが小沢民主党幹事長をお尋ねしたのには二つの理由があります。

一つは、去る11月10日(火)、和歌山県高野町における松永有慶全日本仏教会会長との会談後の記者会見において、キリスト教に対し、「排他的で独善的な宗教だ。キリスト教を背景とした欧米社会は行き詰まっている」との発言と、イスラム教についても「キリスト教よりはいいけど排他的だ」との見解を表明されたことに対して、その発言の真意をお伺いしたいということです。私たちキリスト者の多くは、キリスト教に対する先の幹事長の発言に驚き、また公の席での責任ある発言であるがゆえに見過ごすことが出来ないことを感じています。幹事長がなぜそのようにお感じになったのか、改めて発言の真意をお伺いしたいと思います。

その二は、もし本当にそのようにキリスト教をご理解されているとするなら、それはキリスト教に対するご理解の不十分さから来ていることを申し上げたいと思います。旧・新約聖書全編を貫いているキリスト教の教えは、私たちの信ずるヤハウエの神の一人子である主イエス・キリストの言葉に象徴されているように、「神を愛し、隣人を愛しなさい」(マルコ12:30~31)の一言に尽きます。それは、同じくイエス・キリストの言葉である「敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい」(マタイ5:44)「だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」(マタイ5:39)、あるいは「7の70倍までも赦しなさい」(マタイ18:22)など、「排他的で独善的」とは反対の「和解と赦し」の教えなのです。そのような教えを守り、生涯神と人を愛し続けた証人として、アメリカの黒人の公民権獲得運動の指導者であるマーチン・ルーサー・キング牧師や、インドの地で、死を間近にした行き倒れの

人々を、まずその名を確かめ、この地上に生を受けた最も尊い存在として受け入れたマザー・テレサ女史の名をあげることが出来ます。  
幹事長におかれましては、キリスト教に対するご理解を一層深められ、キリスト教が愛の宗教であることを知っていただきたいと思います。

お働きの上に、神様の祝福があることを祈ります。